

平成27年3月7日（土）

講師：横山浩之（よこやまひろゆき）山形大学医学部 看護学科教授

演題：「子供が育つ魔法のことば」

「小学校に入るまでにできてほしいこと」

小学校の校長先生たちといっしょにつくりました

保護者は手本になりましょう

1. 早寝・早起き・朝ごはん

- 早寝：小学校低学年なら9時前（高学年でも9時半）
- 早起き：起こさなくても6時には起きてくる
- 朝ごはん：「おなかすいた」と起きてくる
※ 休みの日こそ大切： 休みの日に狂うと、週明けの学校で勉強に身がはいりません。

2. しつけの3原則 「言われなくてもできる」まで、教え続けましょう。

- へんじ
- あいさつ（ありがとう、ごめんなさいも含む）
- くつをそろえてぬぐ（整理整頓の第一歩）

3. お手伝い

- 自分から進んで、お手伝いができる
- 自分のことは、自分でやる習慣がついている
- 家族の中で、自分の役割分担が分かる
※ お手伝いは1歳半でやり始められる 「言ってもやらないのは**危険信号**」

4. メディアとのつきあい方

- 2歳半までのテレビ・ビデオ視聴は害悪
- 授乳中、食事時のテレビ・ビデオ視聴は禁止（食事を大切にしない家族は崩壊まっしぐら）
- すべてのメディアへ接触する総時間を制限 ゲームは1日30分まで
- 子ども部屋には、テレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かない
- 自然に親しむ・土に触れる遊びを親子で楽しみましょう

5. 学習が進むために

- 正しいおはしの持ち方を教えましょう
- 毎日、子どもの勉強をみてあげましょう……教育産業は家庭教育のがいちゅう(害虫・外注)
- 学年×20分（入学前は1日10分でよい）
- ひらがなの読み：5歳0か月で90%の子どもができる
ひらがなの書き：6歳0か月で90%以上の子どもができる

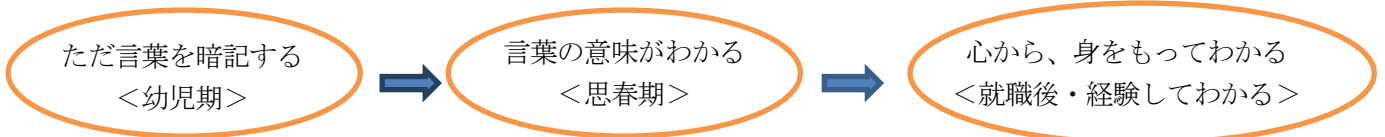
「してみせて いってきかせて させてみる」 米沢藩主 上杉鷹山

「子どもが育つ魔法のことば」

横山浩之氏(山形大学医学部看護学科 教授)

発達段階に合わせて

- ❖ できないことを必死にやらせる→効率が悪く、有害になることもある
- ❖ 「できる」レベルのことを教える→学習が進む【レディネス】



「わかる」「できる」にもいろいろ
 「幼児は言葉を知っていても本当のところはわかっていない」という事を知らなければならない

人として育つために大切な『愛着形成』

<0歳児>…母性によって保護されなければ生きていけない
 6ヶ月までは全てのことを信じて応えてあげる

人に好かれる行動
 人との付き合い方
 愛情を注ぐこと } 学習する時

↓
 愛着形成は『母子関係』から育まれる
 ※“母性”は本能ではなく、子どもとの相互作用である

『早寝・早起き・朝ごはん』

- 『早寝』…幼児なら8時半前に寝かせる
成長ホルモンが十分に分泌される
- 『食事』…母子関係の要
コミュニケーションの手段
それがなければただのエサ

一日1回でも毎日食事を共にし、会話する
 ※テレビは消して！
 ↓
 二次反抗期、思春期 子が物を言わなくなっても、問題が大きくなるうちに
子どもの変化に気付くことができる

メディアの害悪

- ❖ メディア中毒 <覚せい剤中毒者と脳の働きが同じ状態→やめられない>
 幼児期…まだやめられる
 小学生…なおらない
 高校生…引きこもり

※中毒にならないために…
 ・DSなどゲームは与えない
 ・子どもの前ではスマホを使わない
 ・身体を使って外で遊ぶ
 ・一緒に家事をする

泣く子を泣き止ませたり、
 子守りをさせたりする
 アプリを使い、子どもに
 持たせておくのは、
 とんでもないことです

❖ 感覚の異常とずれ

「たまごっち」の悪影響

「人は生き返る」小5児童の70%がYESの答え

※絵空事を理解できるのは小中以降



メディア接触2時間を超えると…行動異常者増加

4時間を超えると…行動異常者100%出現

TV, ビデオ、ゲーム全ての
メディア接触は合計30分まで

おぼっちゃまを育てるな

❖ 『しつけ』

※子どもを応援する最高のことば → 笑顔

<1歳>…しつけの基本「我慢」を覚える

❖ 大人が子どもの行動の機会を奪っていませんか？

「してみせて 行ってきかせて させてみる」

❖ 子どもに求めるなら親も覚悟して努力する

「うちの子時間が守れないんです」→「親は守っていますか？」

お手伝い

❖ 物事の段取りがわかり筋道を立てて考える力が養われる

第一次反抗期(年中・年長)

❖ 言葉を覚え、文と文をつなぐことを覚え、色々な使い方と周りの反応を試しているのです
素直にいう事を聞かない時は…？

① 笑顔 「にっこり笑う」…ひきつってはいけません！

② 「いい子はすぐに～～できるよね」

③ 「～ちゃんはいいい子だから、できるね」

「いい子」という時の表情がポイント

おだてて、
調子にのらせて、やらせる。
そしてほめる。

今やっていることが、子どもの思春期に表れてくる…。

理屈では良いこと、正しいことはわかるけれど、日々の生活の中で実行となると中々難しい…。でも、お話頂いたことの内、少しでも変えてみる、やってみることが良い結果につながると思います。すべてうまくいくことなんてないでしょう。あきらめず負けずにやってみましょうね。

かけがえのない我が子の親だから。全ては子どもたちのために…。みんなの幸せのために…。

うまくいかない時、悩んだ時、遠慮なくお話し下さい。一緒にがんばりましょう。